

## ゴーリコヴァ通り

ガガーリン公園の境でゴーリコヴァ通りが始まります。この道はほとんど岡の下であり、景色によく合っています。こちらのほうが空気のきれいで、呼吸しやすいです。だからこそ、ゴーリコヴァ通りとコムニスチーチェスキー通りの交差点にある栄誉広場は市民に愛されているところかもしれません。こちらで、子供たちを連れてきたお母さんたちが散歩したり、中学生たちはロールスケートで遊んだり、若者も会ったりしています。1945年南サハリンとクリール列島の解放の戦いで衰亡したソビエト兵士の慰霊碑もこの広場に位置しています。第二次世界大戦のベテランも町のお客さんも中学生もこの慰霊碑の下で花束を置いて、衰亡者の冥福を祈ります。

この慰霊碑は1980年に南サハリンとクリール解放の35周年記念日に立てられました。慰霊碑の右の方には対戦英雄のギャラリーが位置しています。

南サハリンとクリール解放の戦いで優れた勇気を現した14人英雄の胸像はレーツで並んでいるようです。

第二次世界大戦の68周年記念日に栄誉広場は再建されました。上の段は第二次世界対戦時代の兵隊設備が展示されています。こちらの歩道の直されまして、新しいカバーが置いてあり、上の段に上がる階段の再建されています。

ゴーリコヴァ通りの特徴は人間の英雄的な行為を表現する2つの広場（栄誉広場と勝利広場）を通ることです。勝利広場ではソ連の有名なT-34戦車が記念碑として展示されています。“この記念碑は日本に対する30周年勝利記念に立てられた”というメモが着いています。この戦車の両方側には大砲が展示されています。この記念場所の設計者はサハリン民間設計社のコルニエーブスキー建築家です。栄誉広場から勝利広場のほうへ進むとサハリンの名物である“山の空気”というスキー場まで上がる道に当たります。山の上に位置するこのスキー場は1960年から使用されています。こちらで前から国内又国際アルペンスキー競技大会が行われていました。ソビエト選手チームは1972年の札幌オリンピックゲームの準備練習をこのスキー場でしていました。ペレストロイカの期間市民に愛されていた“山の空気”スキー場はぼろぼろになってきました。必要な再建は2002年に始まりました。思想も、財務の問題も、設計の会計も山ほどありましたが、結局、町の名物である山の空気スキー場は成功に再建されました。もう照明も付いてあり、町と山の上を繋ぐロープウェイも付いています。山の空気スキー場は世界中のレベルに上がる国際観光地になってきています。

もう少し進むと、市立病院の建物に当たります。ロシア有名な医師であったアंकヂーノフ名前が付いています。高度の技能を持つ医局員は救急の条件でも日常の条件でも感謝に必要な治療を与えています。この病院の医局員の医者ベテランはグラチョーヴァ、ベロホルト、コルパチョーヴァなどであり、看護婦のヴェセローヴァ、マーリツィエヴァ、ストラーホヴァなどです。物理療法科長であるジューコヴァ先生は第二次世界大戦のベテランであり、医療軍隊の中佐であります。

ゴーリコヴァ通りの右側にアネクデーノヴァ遊歩道が当たっています。市立病院にも遊歩道にもソ連の有名な医者であったアネクデーノフ名前が1995年から付いています。

ゴーリコヴァ通りにはスポーツ施設もたくさんあります。1974年に建てられた“スパルタク”スタジアムは栄誉のある歴史を持っています。このスタジアムではサッカー試合だけではなく、陸上競技の試合も行われています。こちらでは文化フェスティバルも組織され、国の一番有名な芸能人もこちらで演劇をしていました。年がたったら、スタジアムを修理する必要が出てきました。数年前スタジアムを再建する決定がされました。新しくされたスタジアムは2009年に復活しました。現代のスタジアムはスポーツ施設の標準に成功に合っています。

スタジアムの近くには子供のスポーツ学校が位置しています。オリンピック競技種目の新しいアルペンスキー学校も建てられています。このスポーツ学校で練習する学生の最大の人数は500人です。このアルペンスキー学校の23人の卒業者はソ連、ロシア連邦のスポーツマスターのタイトルを持っています。

その近くには子供の夏競技種目学校があります。この古い学校は3つの学部を持っています。それは陸上競技部、体操部、ヨット競技部です。620人学生が練習しています。

1974年にギリシアローマレスリングの学校が開校されました。学校には3つの学部があります。ギリシアローマレスリング部、フリースタイルレスリング部、**テコン道部**があります。スポーツ学校は自分の成功な卒業者を誇りにしています。アルペンスキー学校のウリヤーノフ卒業者はロシア連邦のチャンピオンであり、**ツーリン**オリンピックの出席者であります。

ゴーリコヴァー通りに置いてあるもう1箇所の名物はサハリン植物園です。この植物園はロシア連邦科学アカデミーの極東支部に1991年に学者の発議で設立されました。植物の収集には2000種類の植物があります。植物園には色々な動物も生活をしています。植物園の主な科学的な目標はロシア極東特に南サハリンクリール列島の植物界を保存することです。

ゴーリコヴァ通りには学校の町もあります。ハバロフスク市経済法律アカデミーの支部もあり、極東国立技術大学の支部もあり、ユジノサハリンスク市産業経済専攻もあり、サハリン国立ビジネス情報額専門学校もあり、サハリン内務省警察専門学校などがあります。サハリン内務省警察専門学校の4階建物はサハリングラジダープロエクト設計会社に設計され、1971年に内務省の練習所として建てられました。

こちらから道の右側を進むとサハリンの古い専門学校が見えてきます。すれはサハリン国立ビジネス情報工学専門学校とユジノサハリンスク産業経済高専(きゅう農林高専)です。高専の歴史は1947年に始まりました。その年にソ連閣僚会議の決定及び農林省の命令により、戦後に新しく設立されたサハリン州のユジノサハリンスク市に

は農林高専が開校されました。あの時日本時代から残っていた2つの一戸建てに位置していました。あの時から現代まで農林高専の卒業者の人数は1万5千人以上となっています。卒業者の中には有名な人もいます。例えば、ロシア連邦国会のジダカエフ議員、連邦のニクーリン監査役、ユジノサハリンスク産業経済高専のレムチャーエフ校長などです。ゴーリコヴァ通りの右側には住宅地区が位置しています。ゴーリコヴァ通りスボルチーブナヤ通りとコムニスチーチェスキー通りの交差点での辺にはチェリョウムシキ住宅地区があります。